

スマートフォンユーザー調査2024

2024年に会員専用ページで限定掲載したものを
2025年一般ページにも掲載

日本フォトイメージング協会

調査n数は2700人で2024年2月に実施

13歳～30歳まで、男性1350人、女性1350人で調査

13～14歳、15～16、……、29～30歳と各2年毎に300人(男女半々)

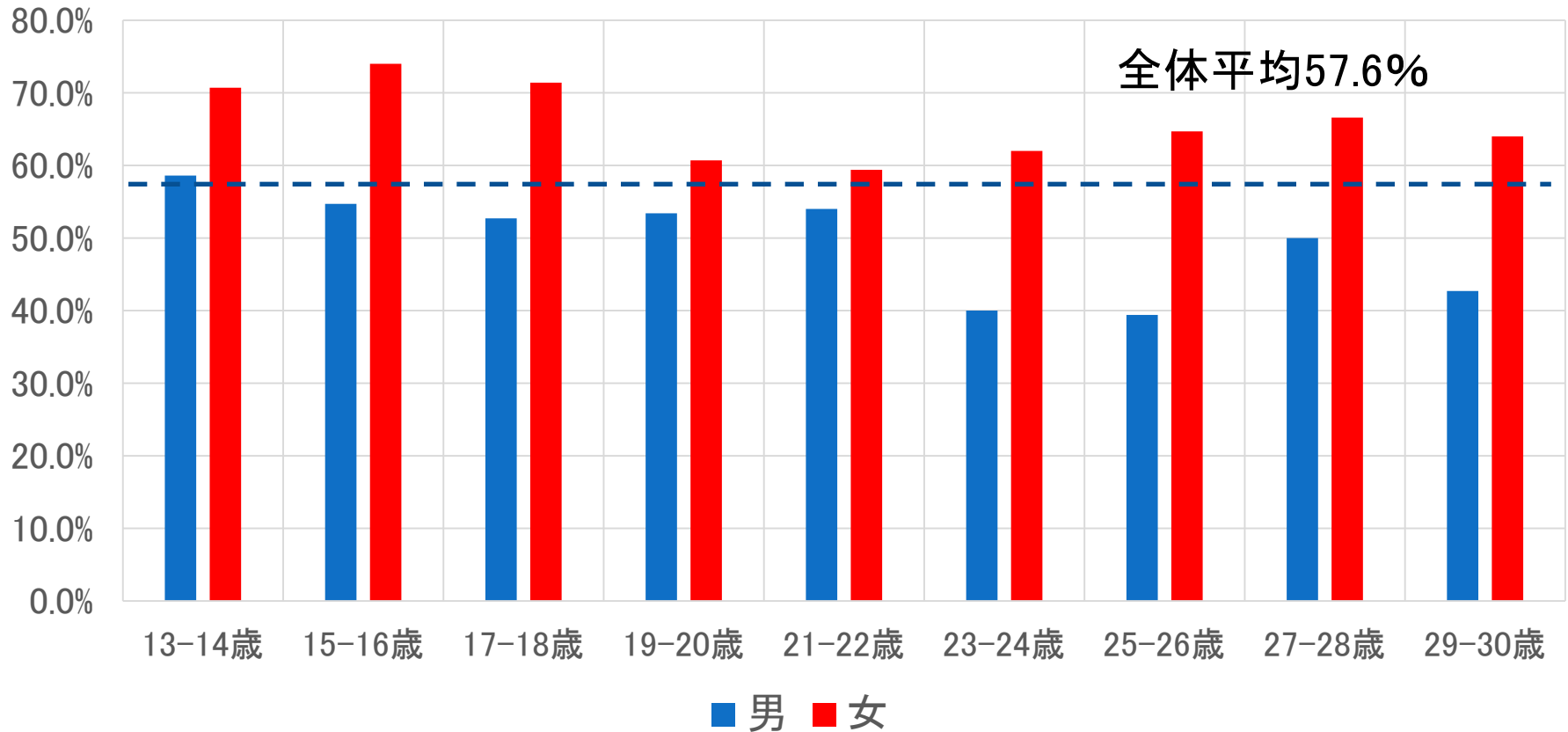
全47都道府県のユーザーをサンプルとして調査

学生49%、社会人51%

未婚88%、既婚他12%

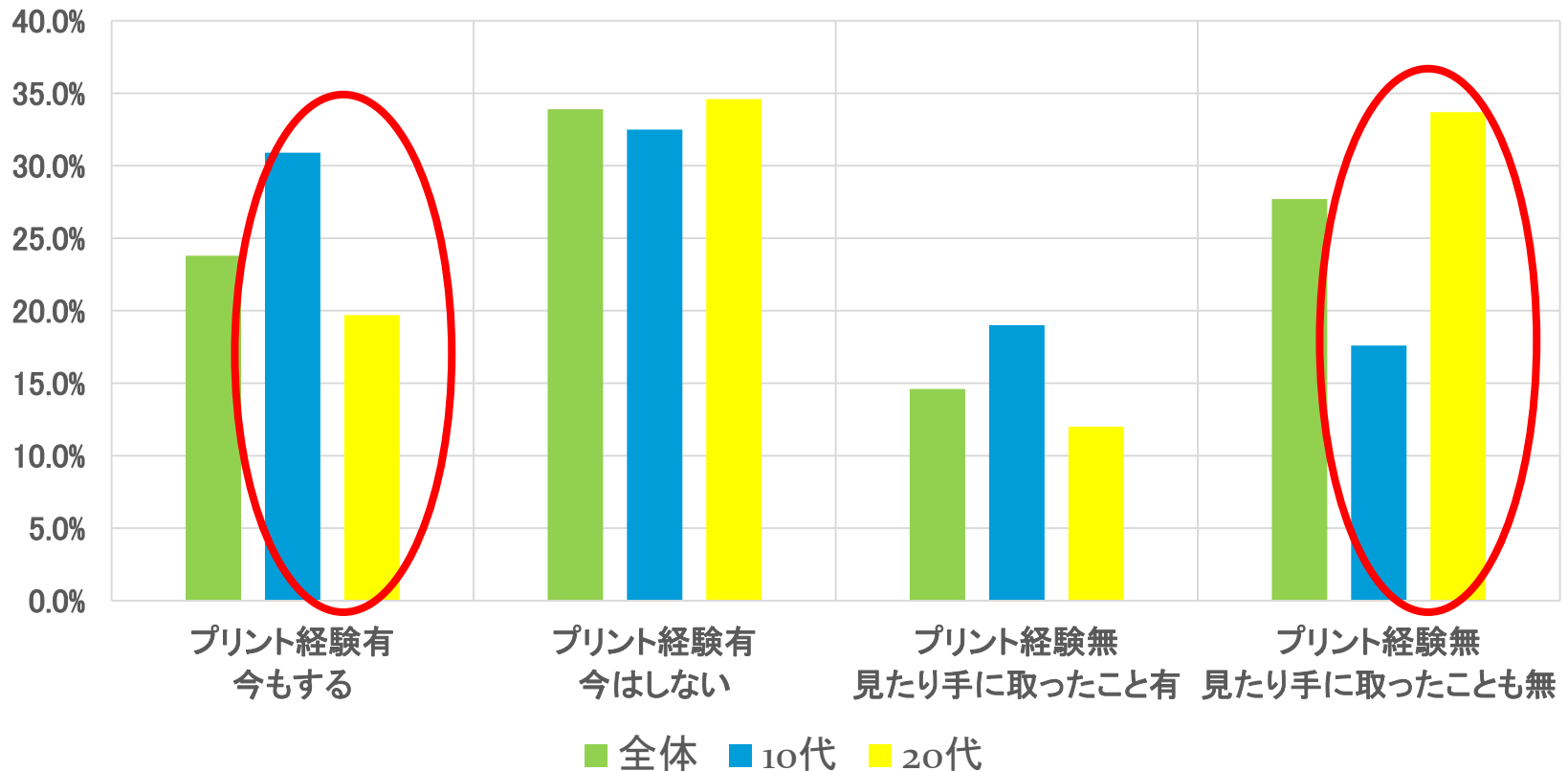
お子様がいらっしゃる回答者は10.6%

写真プリントの経験がある



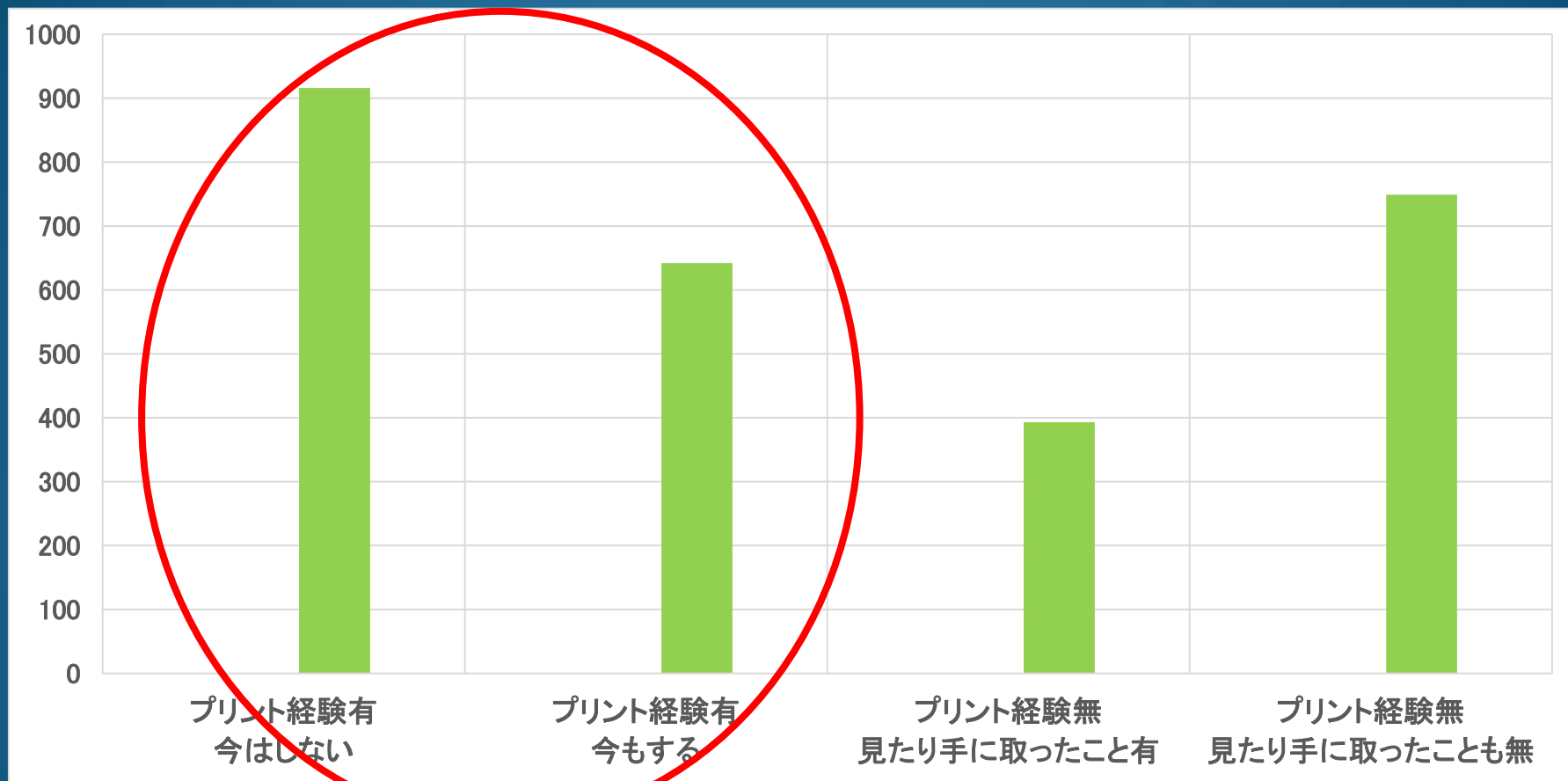
年齢が低いほどプリント経験率が下がる事を懸念していたが
概ね50～60%、女性の方が高い傾向で年代差は無かった
12歳までに写真プリント経験を左右する影響を受けているのでは

写真プリント経験、見たり手に取った経験の有無



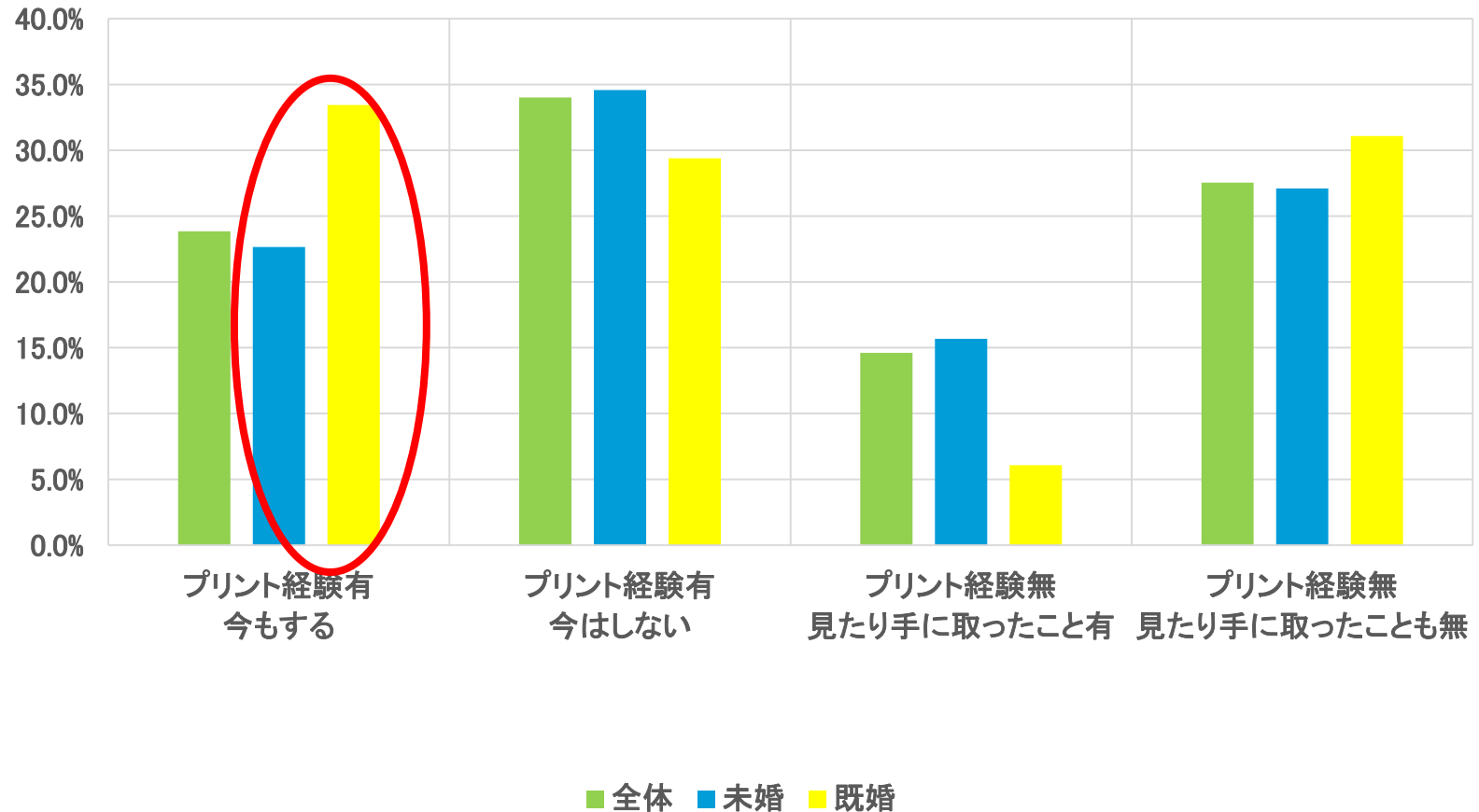
20代に比べて10代が、現在もプリントする率が高い
一方でプリント/手に取る経験無い率も高く嗜好差大きい

写真プリント経験、見たり手に取った経験の有無



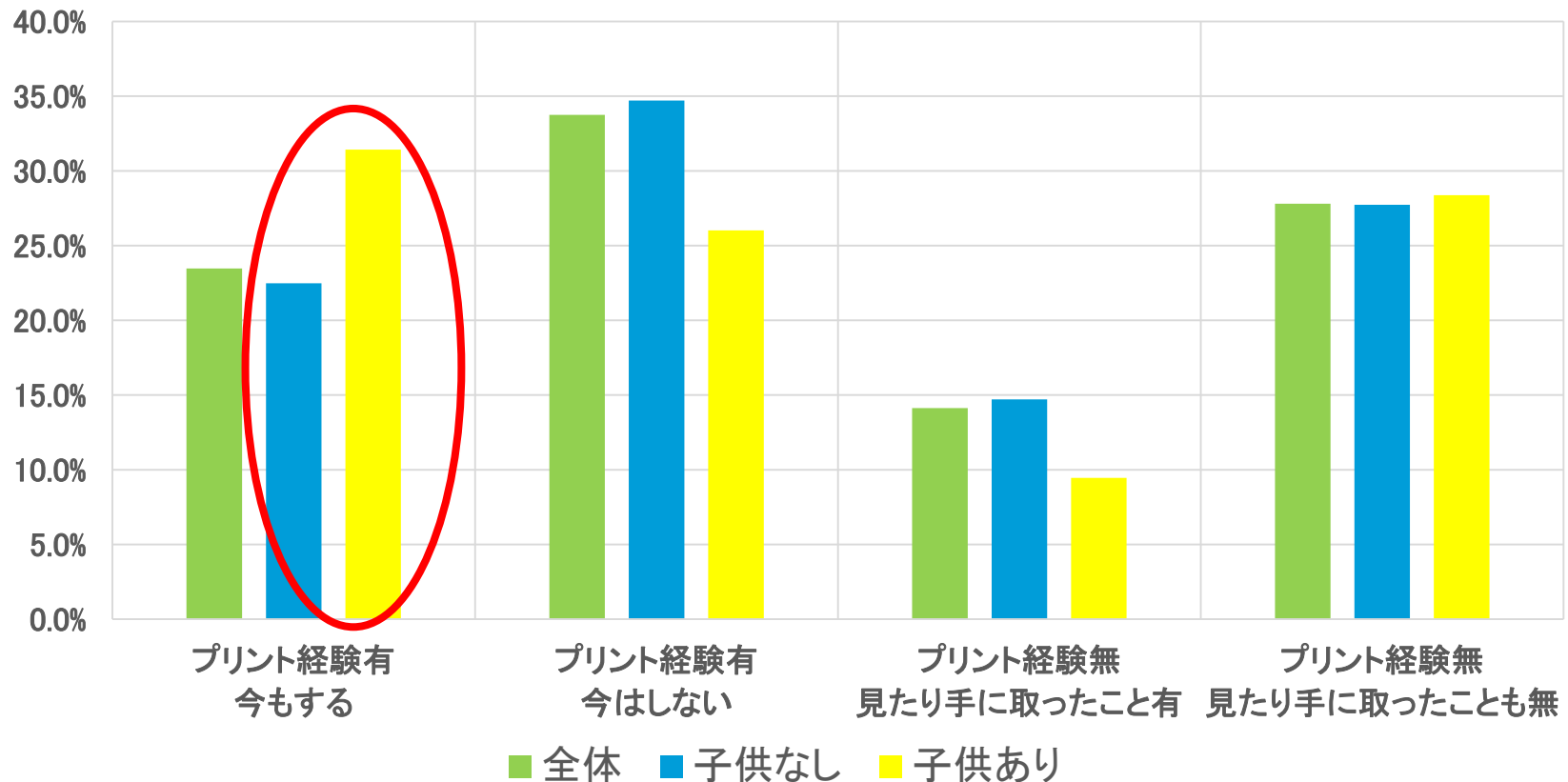
プリント経験者58%、見たり手に取った経験者含めると72%

写真プリント経験、見たり手に取った経験の有無



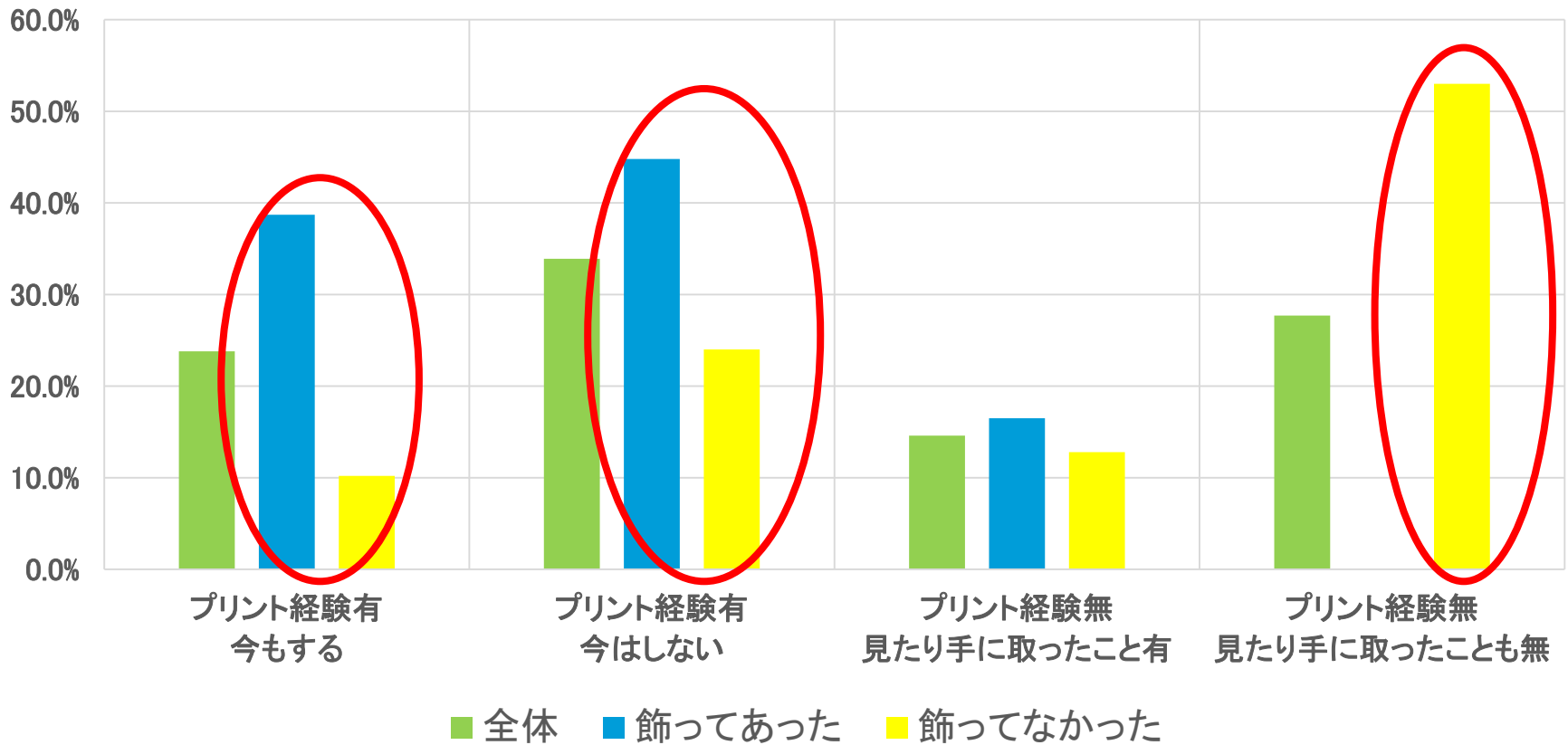
未婚者に比べて既婚者の方が、現在含めプリント経験率高い

写真プリント経験、見たり手に取った経験の有無



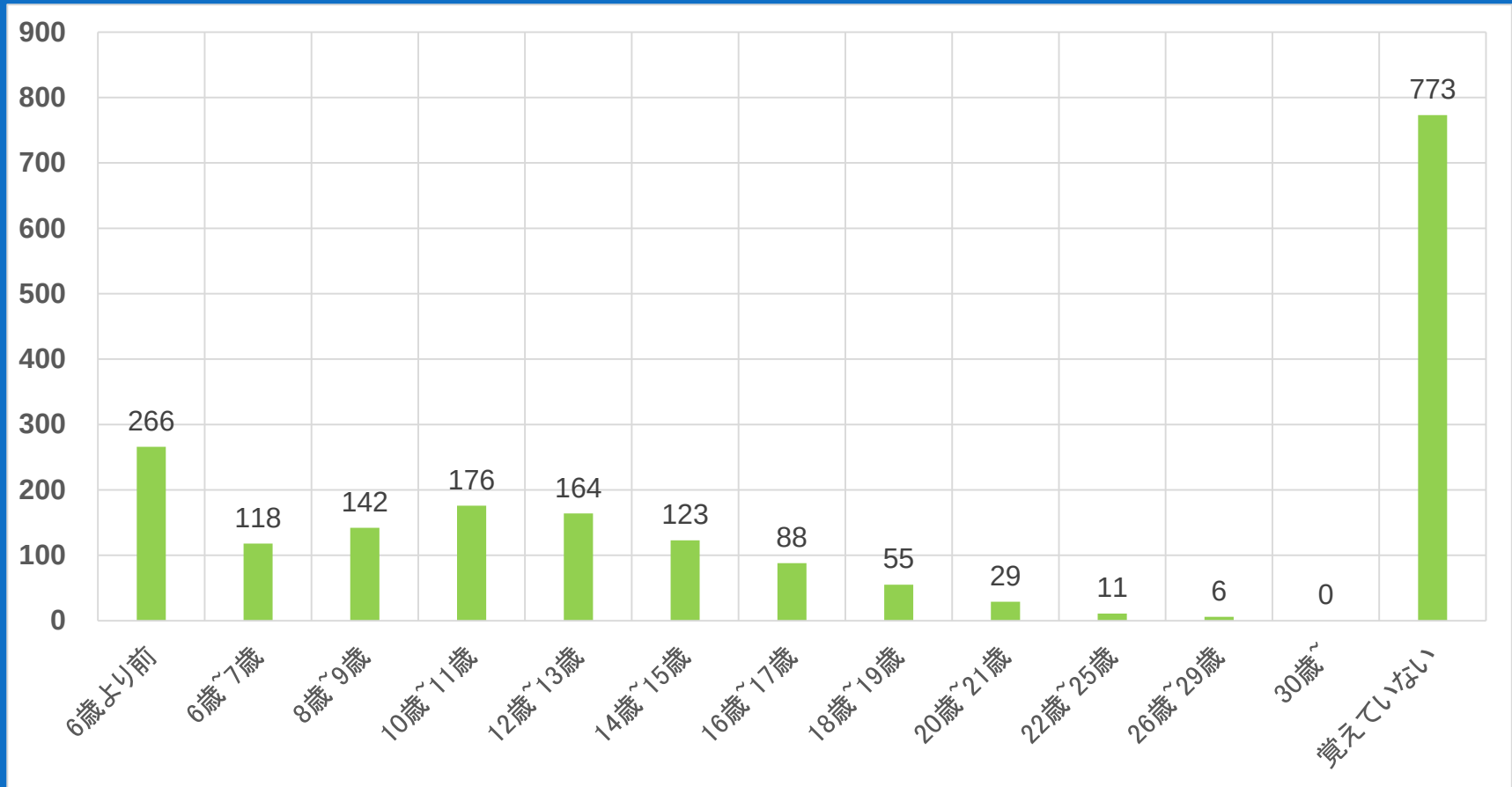
子供がいる人の方が、過去の経験も現在も含めプリント経験率高い

幼い頃家に写真が飾ってあったかどうか 写真プリント経験に与える影響



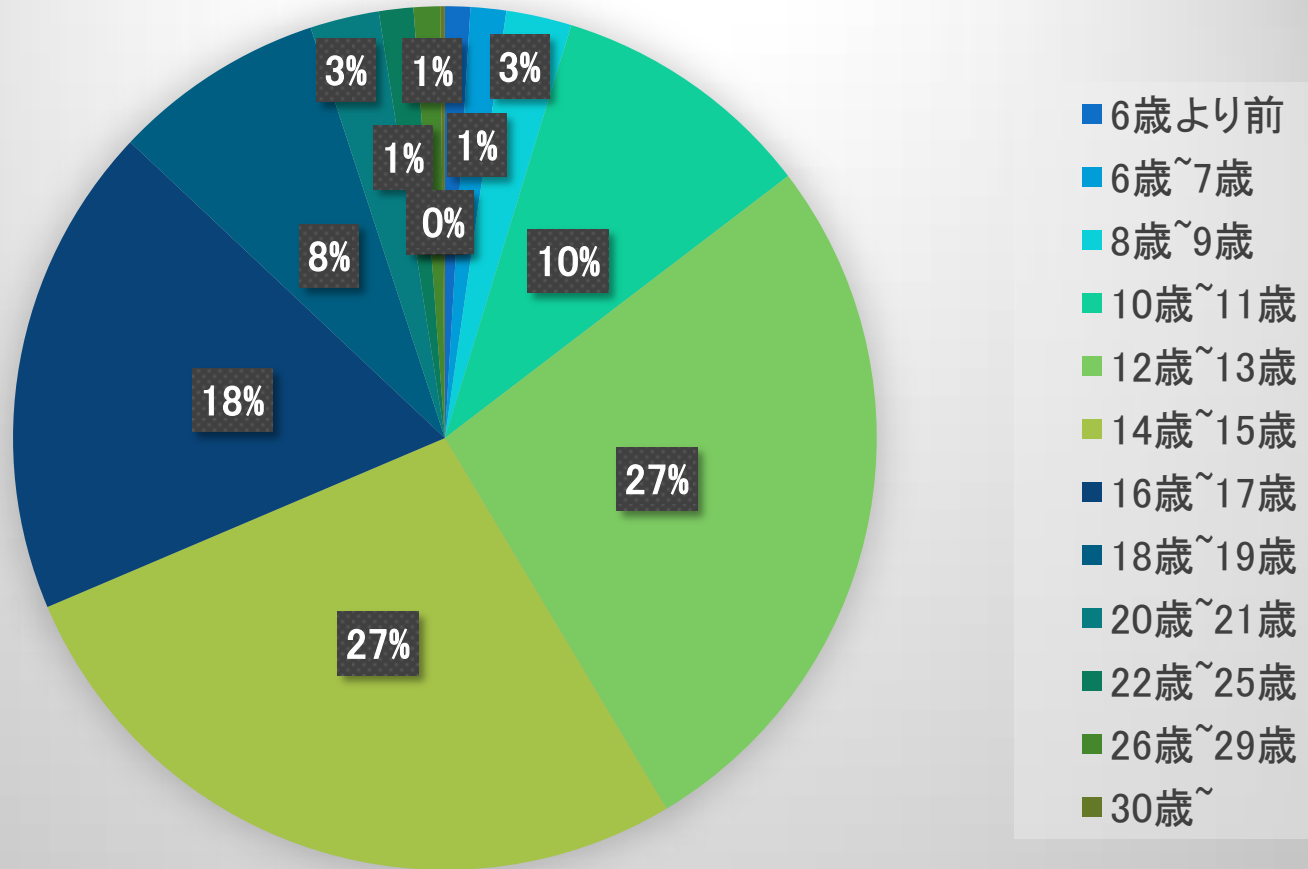
昨年たてた仮説通り、幼い頃家に写真が飾ってあった人は
自らが写真をプリントする様になる傾向が見られる

写真プリントを見たり手に取ったことがある人が 初めて見たり手に取ったと認識している年齢



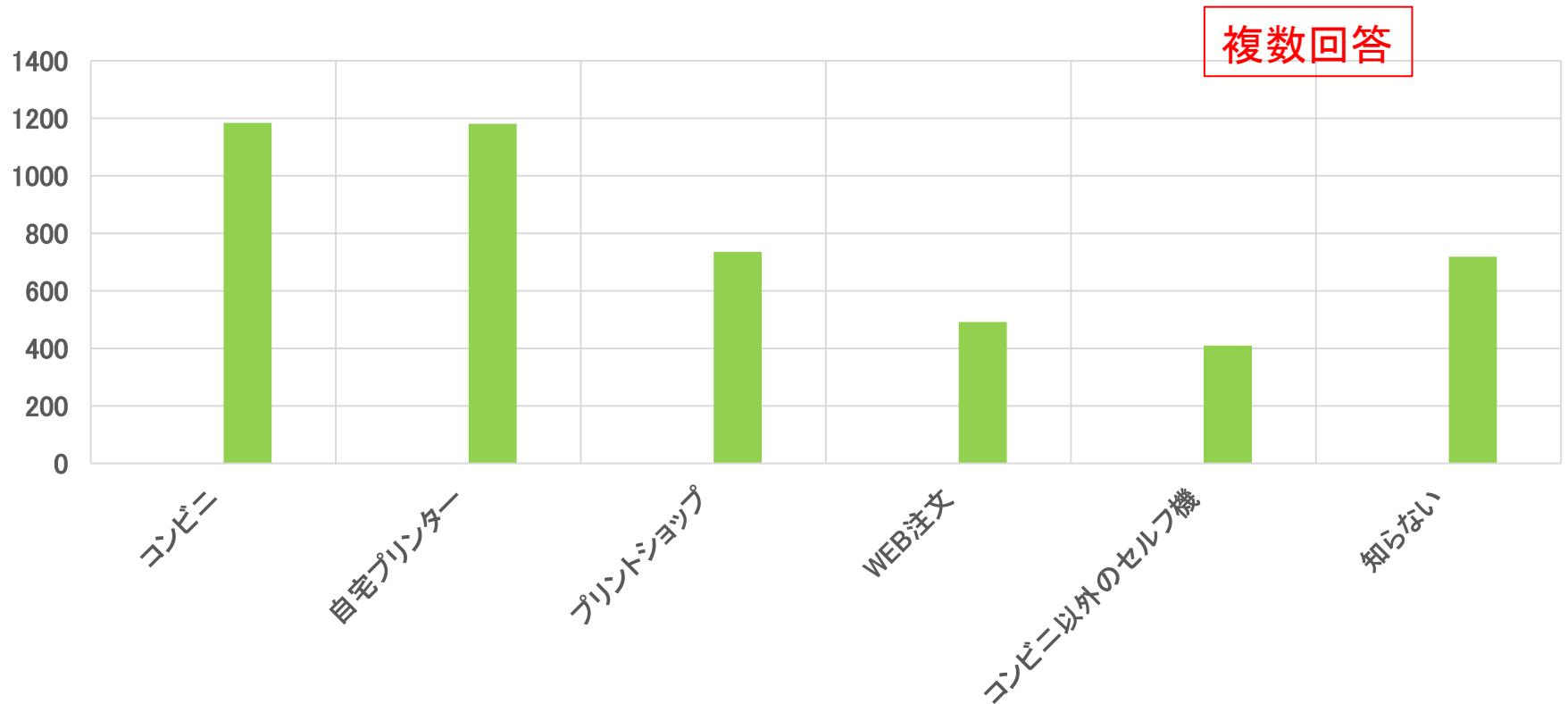
11歳までに60%、15歳までに84%、17歳までに96%

初めてスマホ／携帯電話を持った年齢



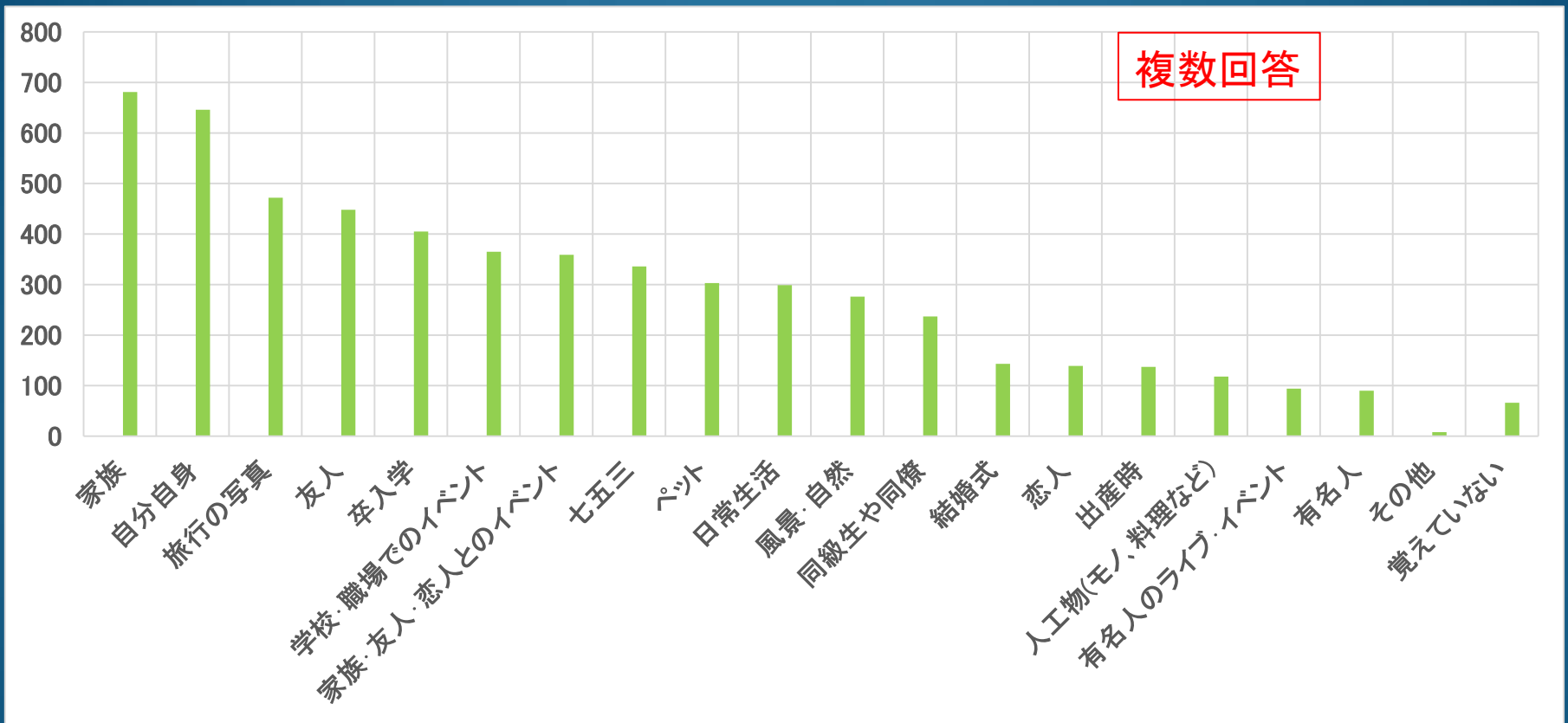
11歳までに14%、15歳までに68%、17歳までに86%

写真プリント方法の認知



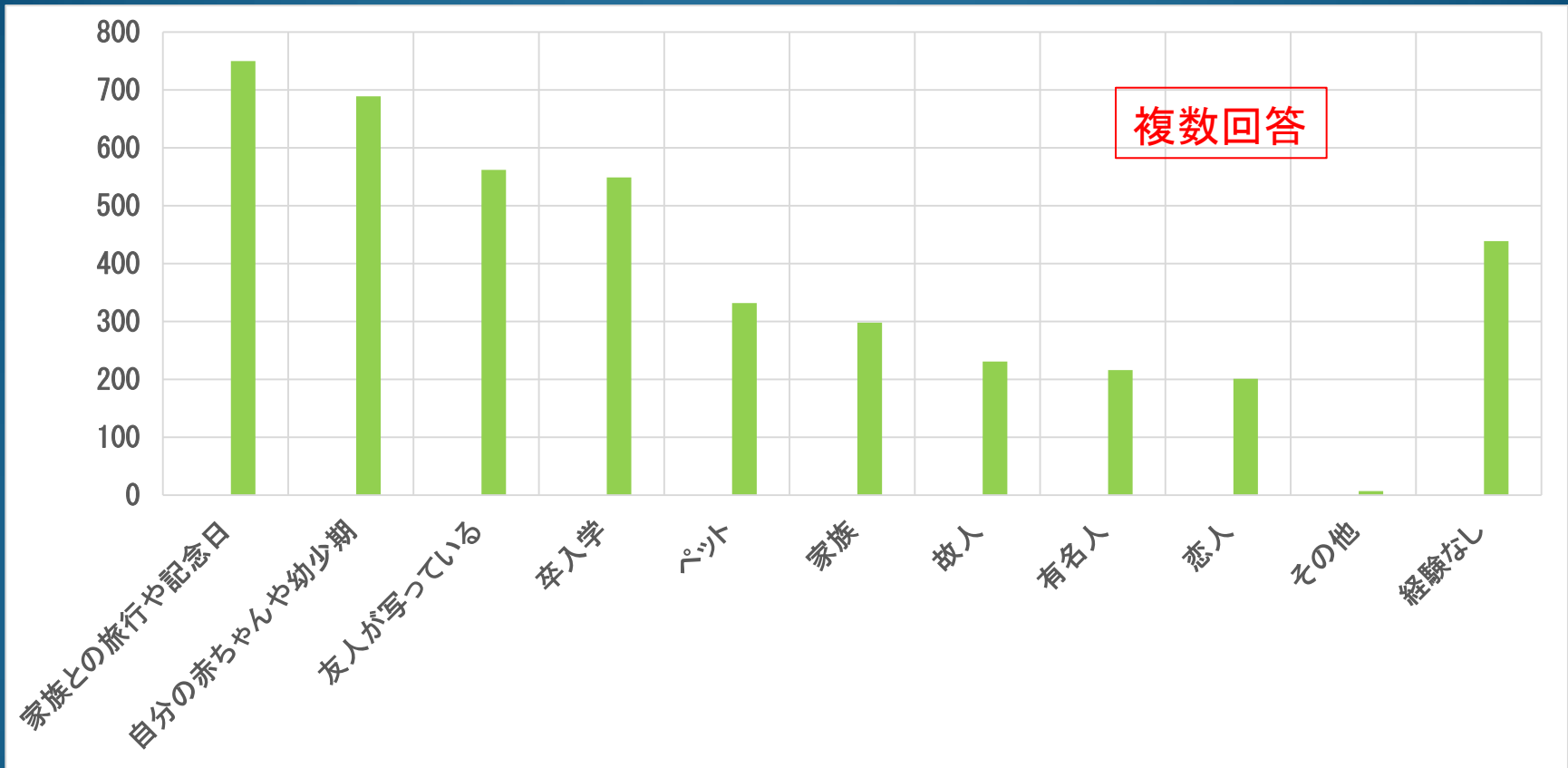
コンビニや自宅プリントという認知が多い、知らない人27%

写真プリントで感じる感動・ときめき・懐かしさ (感じる65%、感じたことがない35%)



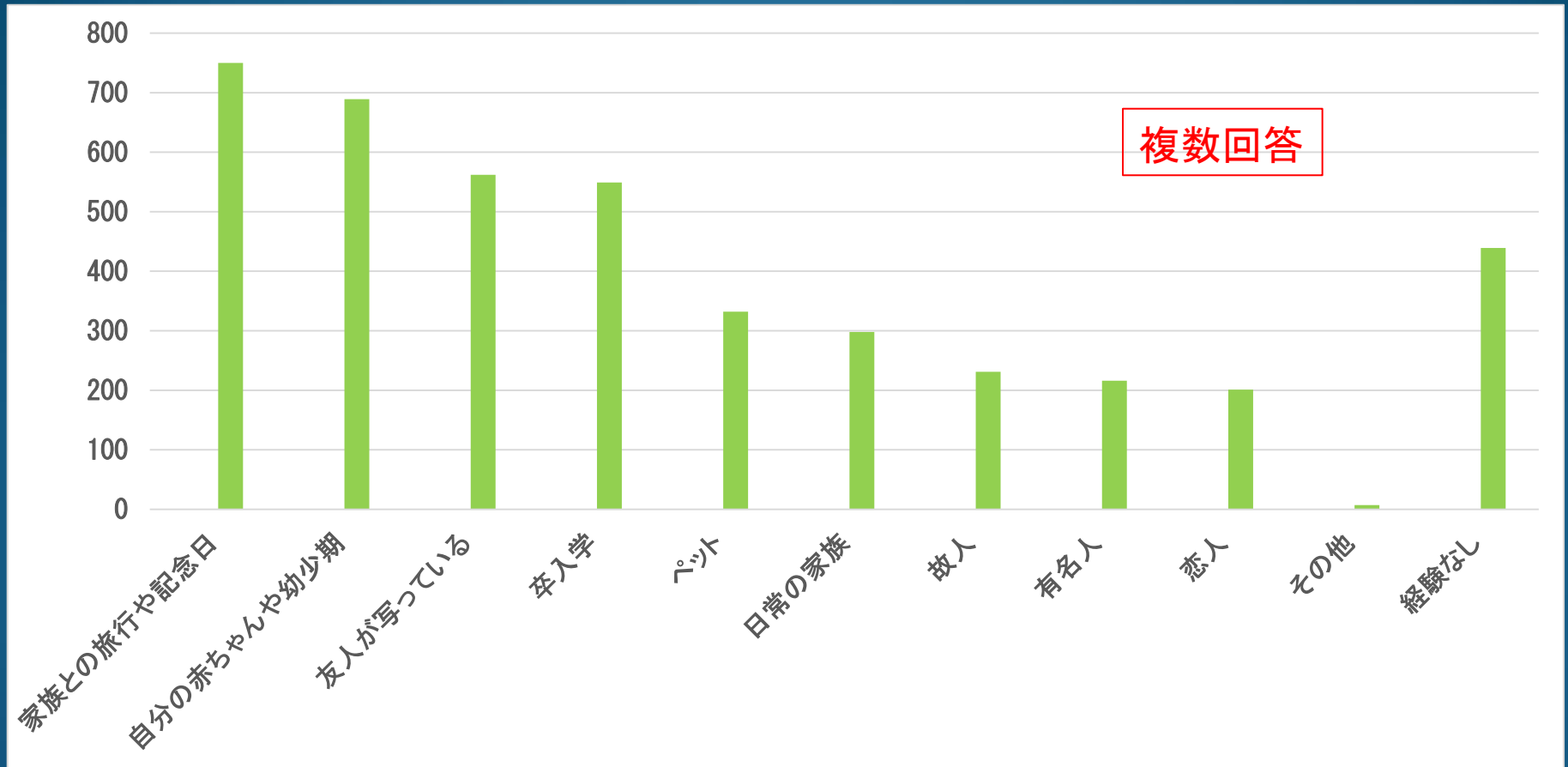
家族、自分、旅行、友人、卒入学、学校や職場のイベントの順

写真を見ながら誰かと話をしたり見返す写真プリントは



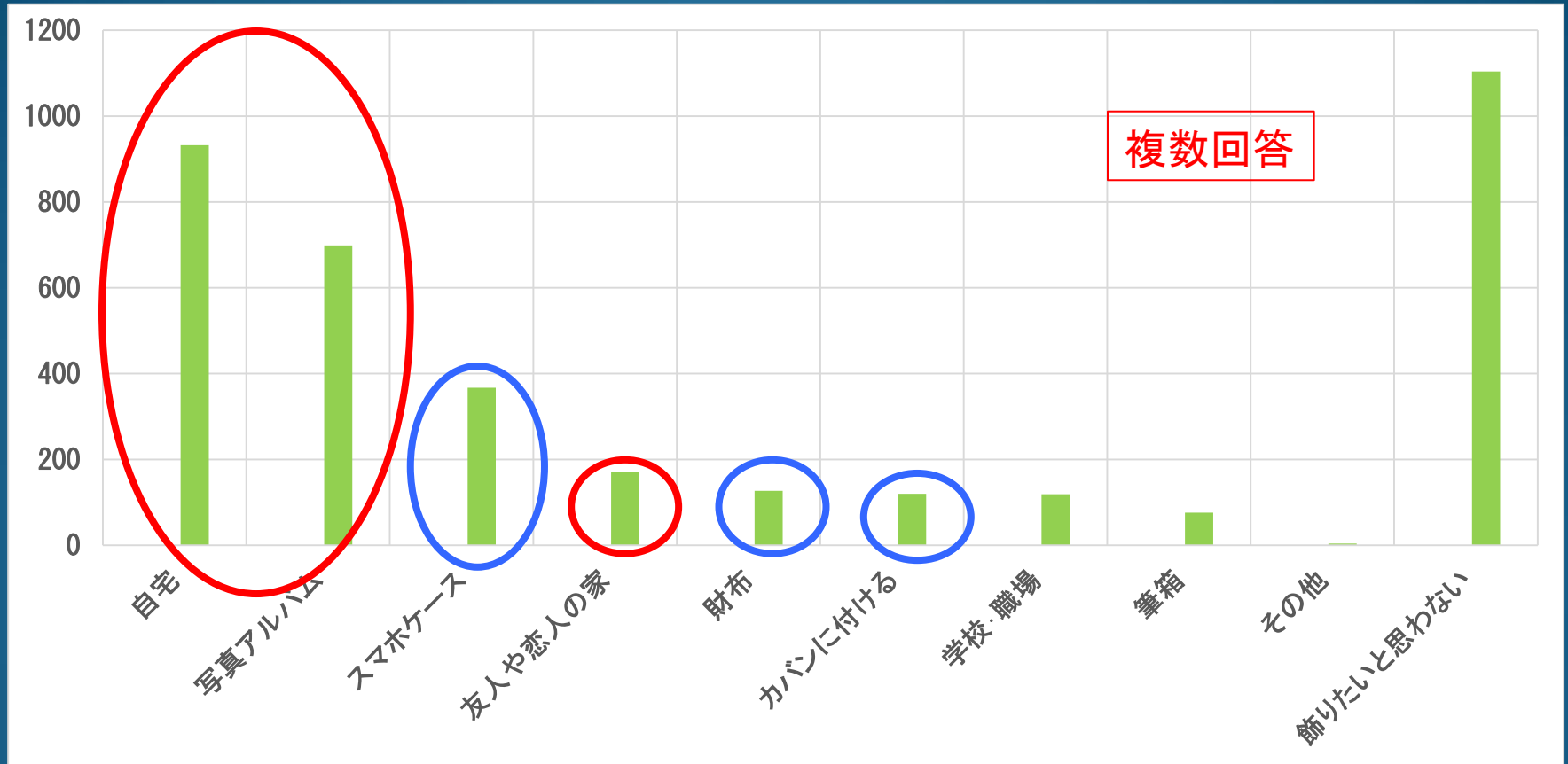
家族との旅行や記念日、自分の幼少期、友人、卒入学の順

今後「飾る」、「贈る」、「残す」ことをしたい写真プリントは



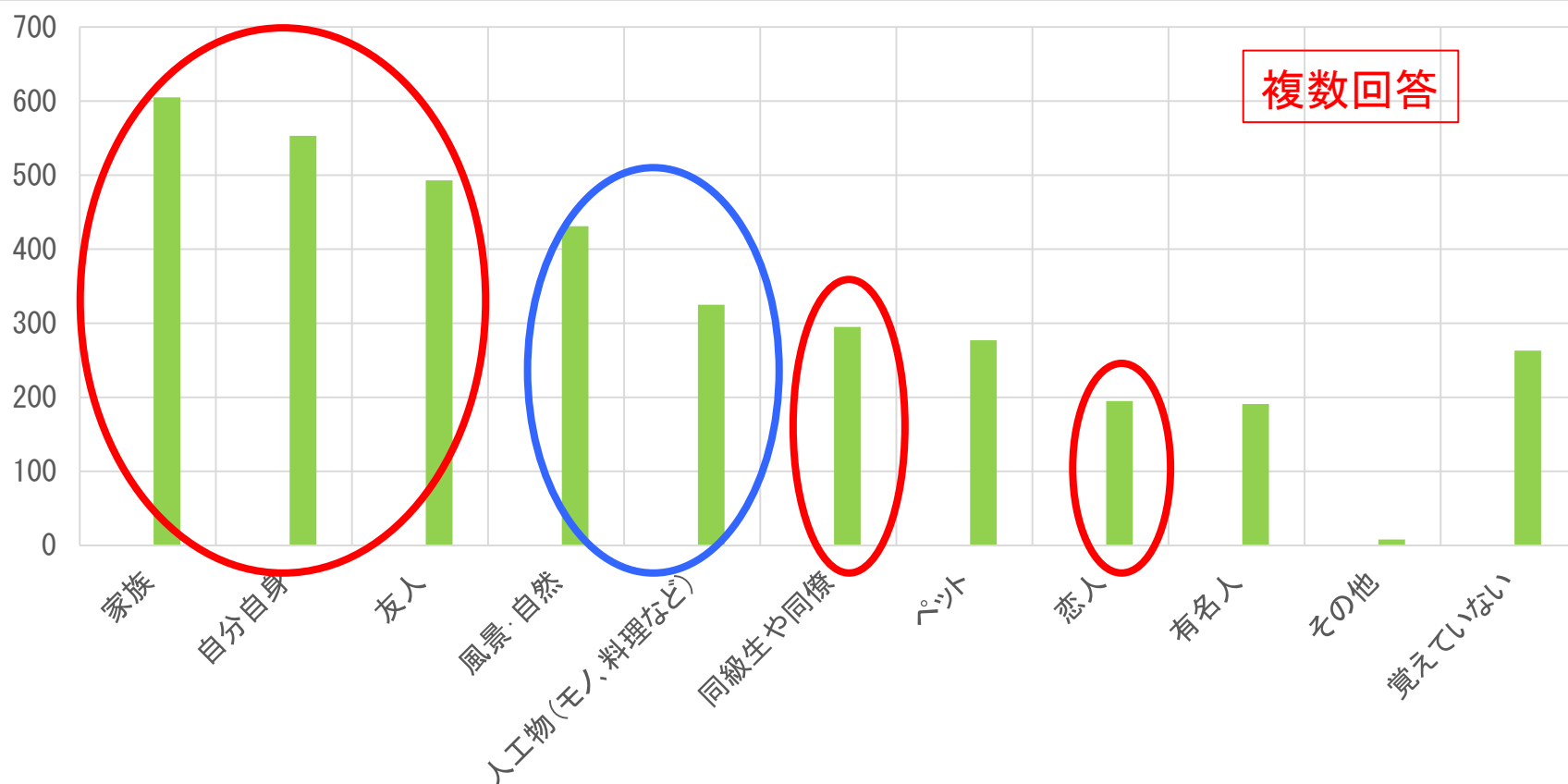
家族旅行や記念日、自分、友人、卒入学、ペット、日常の家族の順

写真プリントを飾りたいと思う場所は



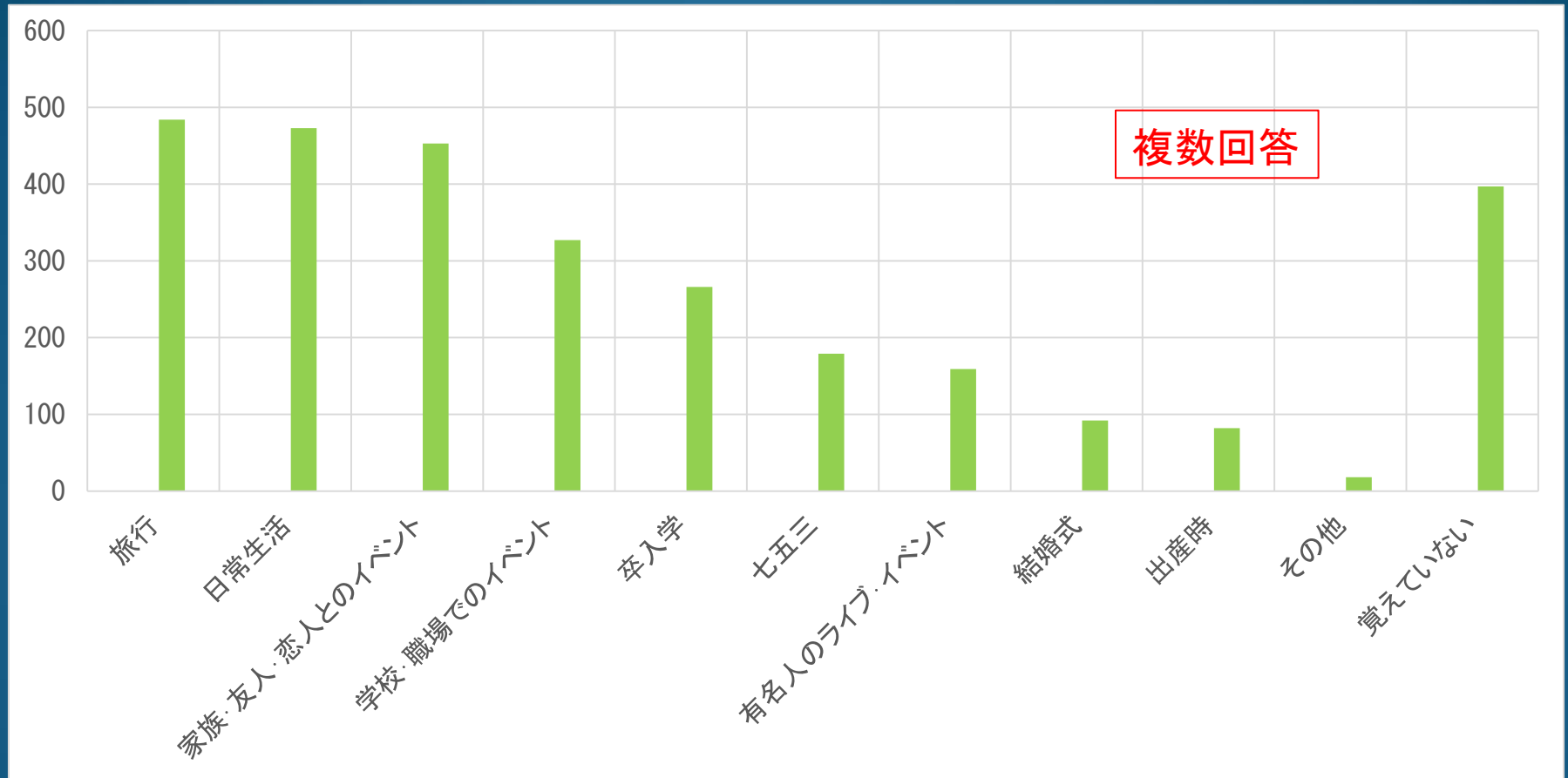
自宅、アルバム、スマホケース、友人や恋人の家、財布、カバンの順
身に着ける用途は意外と少なく、商材の工夫で増やす余地あり

これまでにプリントした写真の被写体



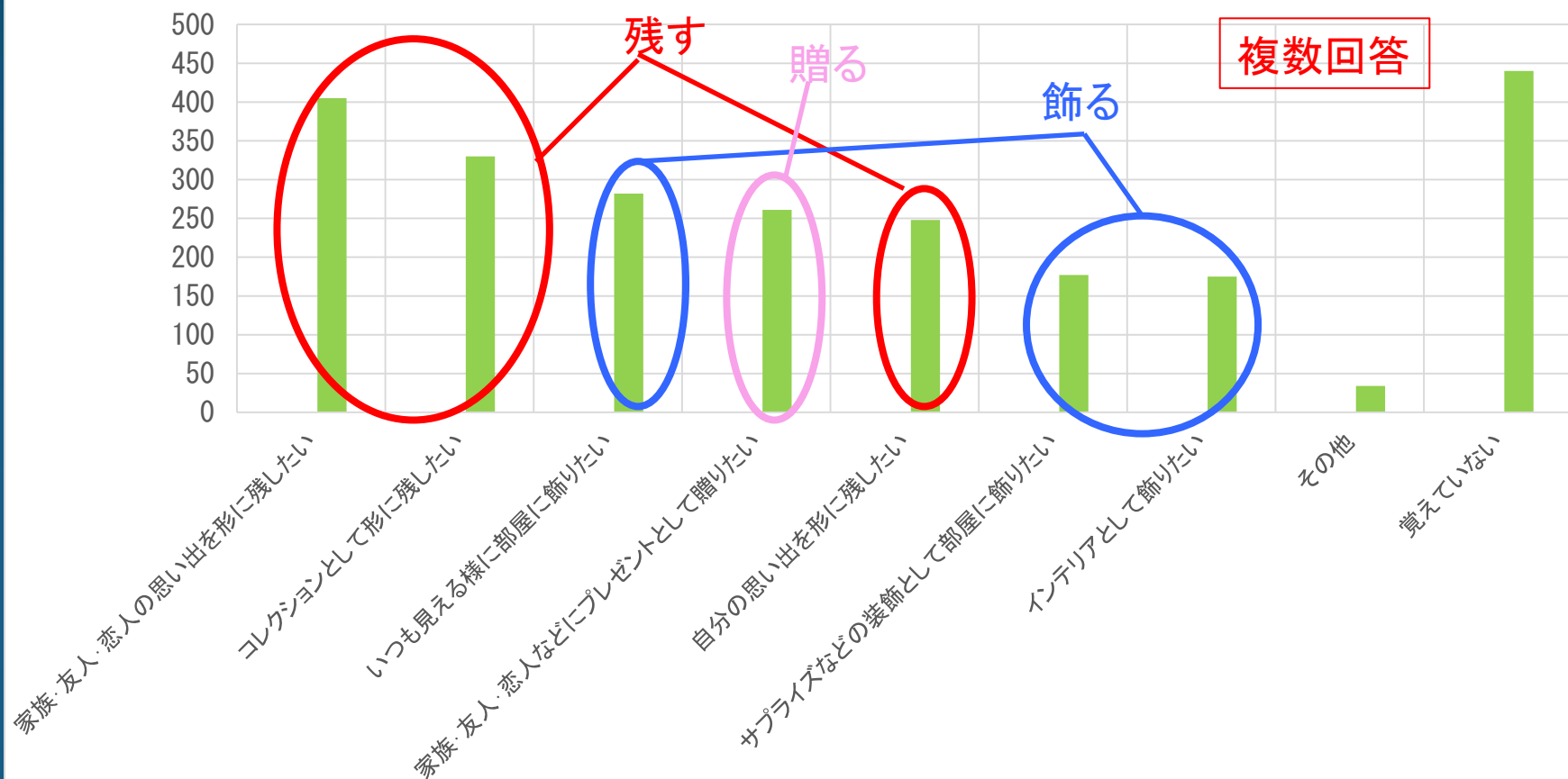
家族、自分自身、友人、風景・自然、人工物、同級生・同僚の順
人物が一番多く、続いて風景や建物

これまでにプリントした写真のシチュエーション



旅行、日常生活、家族・友人・恋人とのイベントの順

写真をプリントした理由



家族や友人の思い出を残したい、コレクション、部屋に飾りたいの順

今回の分析は以上となります
2025年に次回の調査を予定
会員の皆様から分析の視点や内容など
ご要望、ご意見を伺って具体化する予定